

一 般 質 問

令和 7 年第 1 回（3 月）定例会

通告順	議席番号	議 員 名	ページ
1	1 9 番	渡 邊 光 子	2
2	1 4 番	山 中 敏 正	4
3	1 0 番	細 谷 文 人	6
4	6 番	岩 崎 隆 志	7
5	1 2 番	岡 安 政 彦	9
6	1 1 番	糸 井 政 樹	10
7	4 番	砂 川 和 也	12
8	1 3 番	浦 田 充	14
9	2 番	渡 邊 広 美	15
1 0	1 番	仲 又 清 美	17
1 1	8 番	須 山 陽一朗	19
1 2	5 番	北 村 あやこ	21
1 3	9 番	近 本 あんな	22
1 4	3 番	渡 辺 ま や	23
1 5	7 番	榊 萌 美	25
1 6	1 8 番	江 森 誠 一	27
1 7	1 7 番	にいつま 亮	28
1 8	1 5 番	岡 野 千枝子	30

質問方法は全議員とも複合式

※ 複合式とは、1回目の質問及び答弁はまとめて行うが、2回目以降は
1項目ごとに一問一答で行う。質問時間は答弁も含め1時間以内とする。
(質問回数の制限なし)

19番 渡邊 光子

1. 市民の安心安全について条例化を求める。（12月議会に続き、市長に答弁を求める）

公道の自転車道を含む歩行部分に畑の土が落ちて草が生え、公道の幅員を狭くして通行を妨げている状態、又は隣地の枝が公道に伸びて通行を妨げる、加えて信号機まで枝が伸びて信号機が見えづらい等大変危険です。このような場合、一部の地主さんが解決に時間を要し安心安全が確保できないときがあります。

解決が長引くことは地域の方々も不安が続くことになります。そこで伺います。

- （1） 関係する地主さんへ担当課で速やかに文書を持ちお願いに行く。その後相当の期間の1か月を経過しても地主さんの解決が見られないときは、配達証明付き文書にて「何日までに対応が見られないときは、桶川市が業者に依頼して対応する。その費用は関係する地主さんへ請求する」又は「桶川市職員で対応する」等を通告する。そして安心安全の早い確保を求めます。

2. 桶川市の市章の一般市民の利用について（9月議会に続く）

北本市では市章を一般の会等が利用するにあたっては「北本市がかかわっていると誤解を受ける」として使用は禁止されている。市章にかわり「北本市」と書いたロゴがあり、一般の会等が使用できるという。

上尾市は「上尾市がかかわっていると誤解を受ける」として市章の一般の団体等の使用はないという。

桶川市は、どこでも誰でも市章は使用してもよいと言い、理解があるかのようにも思えるが使用を軽んじているところがあると考えます。20歳を祝う会で見ると国旗と市旗に向かって一礼する。このようなことから誰でもどこでも桶川市章の使用ができることについて一考してはどうか伺います。

3. 令和5年度の財政状況は、県内40市の中で桶川市は上から29番目に位置します。節約と財源確保について

- （1） 桶川市各課執行部等の議員視察への同行の廃止について

岩崎市長は「必要があれば議員視察へ同行させます」といい、議員視察への同行は廃止にしました。また先の副市長は「議員に誘われたら断れないのです」とも言いました。議員は視察して桶川市にもよい

と思うことを桶川市へ助言して施行につなげる。これが議員視察の目的です。「財源がありません」と市民に言う前に積極的な節約に向けて、各課執行部等の議員視察への同行の廃止を伺います。

(2) 小中学校給食の牛乳の飲み残り処分費用削減について

牛乳は発酵させると肥料になるそうです。そこで伺います。

① 各学校ごとの牛乳の飲み残り量を1日分、1か月分、1年分を伺います。

② 牛乳を無料で引き取り肥料として使ってくれる団体等を募集し飲み残り牛乳の処分費の削減につなげることを伺います。

(3) 川田谷泉線の残地の公売について(12月議会に続く)

市民の要請に「財源がありません」と財源不足を主張する前に、積極的に財源確保をしませんか。川田谷泉線沿いにある泉2丁目364の9、及び364の504の土地は住宅を建てる等にもそれぞれ必要な面積があります。公売にて市民に開放することを伺います。

4. 感震ブレーカー設置補助金について(6月、9月議会に続く)

この1月、地下の下水管の損傷で公道にできた穴にトラックが落ちて運転手の救出が困難な状況がありました。災害はいつ起こるか予想がつきません。しかし、大きな地震は必ず来ると予想されています。地震による火災への備えは必須です。感震ブレーカー設置補助金について結論を伺います。

1 4 番 山中 敏正

1. 持続可能な行財政運営の実現に向けた改革について

(1) 本市における財政状況について（資料にて説明願います）

- ① 予算を決めるまでのフローはどうなっているのか、伺います。
- ② 歳入・歳出の推移と変化について、伺います。
- ③ 市税を中心とする自主財源比率の推移について、伺います。
- ④ 財政指標（財政力指数・経常収支比率・実質収支比率）とその評価について、伺います。
- ⑤ 一般会計から特別会計・企業会計への繰出金の推移とその評価について、伺います。
- ⑥ 過去5年間における財政調整基金の取り崩し実績額とその評価について、伺います。
- ⑦ 地方債残高の推移とその評価について、伺います。

(2) 今後の財源見通しについて

- ① 健全な収支バランスを阻害する要因について、伺います。
- ② 重点項目の取組について、伺います。
- ③ 財政状況を把握するための中長期財政見通しについて、伺います。
- ④ 持続可能な行財政運営に向け本市はどのような取組を行っているのか、伺います。

2. 森林環境譲与税について

(1) 森林環境譲与税の使途について

- ① 令和6年度の改正内容と本市への影響について、伺います。
- ② 住民税と併せて課税される金額と、本市に譲与される金額について、伺います。
- ③ 本市における森林環境譲与税の使途と金額及び、基金残高について、伺います。（年度ごとに資料で説明願います）

(2) 本市における今後の活用について

- ① 民地から公道に越境した木や枝の剪定への問い合わせ件数の推移とその対応について、伺います。
- ② 民地から市内の公共施設や道路への倒木の処理について、伺います。
- ③ 危険木伐採事業補助金として県内の活用状況について、伺います。
- ④ 桶川市での活用について、伺います。

3. ゼロカーボンシティ宣言の実現に向けた取組について

(1) 桶川市環境基本計画について

- ① 計画策定の背景と目的について、伺います。
- ② 計画の位置付けについて、伺います。
- ③ 計画の推進主体について、伺います。

(2) カーボンニュートラルな未来のために

- ① 桶川市が目指す環境像について、伺います。
- ② 中長期的にどのような方向性で推進していくのか、伺います。
- ③ 地球温暖化対策実行計画で市域の温室効果ガス排出量削減の目標値について、伺います。

(3) カーボンニュートラルの実現に向けた取組について

- ① 桶川市での脱炭素推進事業の取組について、伺います。
- ② 桶川市におけるエネルギーの地産地消について、伺います。

10番 細谷 文人

1. 婚活事業について

- (1) 本市の、過去5年間の婚姻件数
- (2) 本市に、婚活事業又は関連する事業はあるか。
- (3) あれば、その婚活等事業の成果にはどのようなものがあるか。

2. 桶川飛行学校平和祈念館について

- (1) 一般公開が始まって現在までの、入場者数の推移
- (2) 年間の維持管理費
- (3) 施設の利用者と利用状況はどのようなものがあるか。
- (4) 今後の方向性として、道の駅との連携はあるか。
- (5) 戦後80周年に向けた、プロジェクト等の計画はあるか。

3. 桶川市公共施設等総合管理計画について

- (1) 現在、整理に向けて検討している施設等はあるか。
- (2) あれば、その施設等についてのスケジュールはどのようなになっているか。

6 番 岩崎 隆志

1. 見えない障害と生きる、高次脳機能障害者への支援における桶川市の現状と課題について

(1) 高次脳機能障害の支援体制について

- ① 桶川市における高次脳機能障害者への支援体制はどのようなになっているのか伺う。
- ② 現在の支援体制における課題や改善点は何か伺う。

(2) 自殺予防とメンタルヘルスケアの強化

- ① 自殺念慮を持つ高次脳機能障害者への具体的な支援策は何か伺う。
- ② メンタルヘルスケアの専門家やカウンセリングサービスの提供状況はどうなっているのか伺う。

(3) 施設入所の支援と対応

- ① 高次脳機能障害者が安心して入所できる施設の整備状況はどうなっているのか伺う。
- ② 他害や自害のリスクがある場合の対応策や支援体制はどのように整備されているのか伺う。

(4) 警察や医療機関との連携強化

- ① 警察や医療機関との連携を強化するための具体的な取組は何か伺う。
- ② 緊急時の対応マニュアルや支援体制の整備状況はどうなっているのか伺う。

(5) 県央地域における高次脳機能障害支援体制の整備、認知症支援策と同様の「早期発見・早期対応」、「多機関連携での支援」といった高次脳機能障害支援策を、地域自立支援協議会などで検討していくようお願いしたいと思いますが如何でしょうか。

2. 「年金だけでは暮らせない」高齢者の悲痛な叫び、桶川市の具体的支援策を問うについて

- (1) 生活保護以外の生活困窮者向けの支援制度について伺う。
- (2) 国民年金基金や付加年金など、国民年金に上乗せできる制度はあるか伺う。
- (3) 高齢者の医療費助成制度について伺う。
- (4) 桶川市独自の高齢者向けの給付金や手当はあるか伺う。
- (5) 高齢者の住宅支援について伺う。

(6) 高齢者向けのよろず相談窓口について伺う。

3. 隠れ裕福と実際の困窮、物価高騰対策給付金の矛盾を問うについて

- (1) 現在の給付金の支給基準が主に収入に基づいていることについて、どのような理由でその基準が採用されたのか伺う。
- (2) 財産状況を考慮しないことによる矛盾点について、どのように説明しているのか伺う。
- (3) 裕福な家庭にも給付金が支給されることがある現状について、どのように対処する計画か伺う。
- (4) 今後、支給基準を改正し、財産状況を考慮することは検討されているのか伺う。
- (5) 財産状況を考慮した支給基準の具体的な提案内容とその実現可能性について、どのように考えているか伺う。
- (6) 他の自治体や国の施策と連携し、財産状況を把握するための具体的な手段は何か伺う。
- (7) 生活が苦しいにもかかわらず課税世帯となっている家庭への追加支援策は検討されているか伺う。
- (8) 課税世帯向けの支援策を拡充する計画はあるか伺う。

1 2 番 岡安 政彦

1. 高齢者社会について

(1) 軽度認知障害について

- ① 軽度認知障害（MC I）について伺う。
- ② 軽度認知障害の兆候と早期発見の重要性について伺う。
- ③ 軽度認知障害と診断された場合の支援について伺う。

2. 桶川市の安心安全まちづくりについて

(1) 通学路の安全対策について

- ① 地域での通学路見守り活動について伺う。
- ② P T Aによる通学路安全点検について伺う。
- ③ スクールゾーンの安全対策について伺う。

(2) 桶川市の防災対策について

- ① 今年度の防災訓練について伺う。
- ② 参加団体・市民の参加について伺う。
- ③ 防災訓練日の決め方について伺う。
- ④ 地区防災計画の目的と特性について伺う。
- ⑤ 災害時の外国人への対応について伺う。
- ⑥ 来年度の防災対策について伺う。
- ⑦ 災害時の情報伝達について伺う。
- ⑧ 災害時の情報収集について伺う。
- ⑨ 要支援者名簿について伺う。

1 1 番 糸井 政樹

1. 桶川市の教育について

年々進化を遂げている教育環境であるが、そのデメリットも報告されています。当市におけるその状況を、不登校や命の大切さの質問とあわせて伺います。

- (1) 当市における現在の不登校数と対策について伺います。
- (2) 我が国の自殺者数は平成10年以降、連続14年3万人を超えていたが、平成22年以降は減少が続いていました。令和5年では20,268人（暫定値）であり、前年より1,659人減少していますが、小中高生は527人となり前年より14人増加し、尊い、将来ある若い子どもたちが自らの命を絶つという悲しい状況が続いています。この現状を市はどのように捉えていますか、また命に対する教育をどのように行っているのか伺います。
- (3) テストや宿題の答えが同様になっており、調査すると生成AIの答えと似通っていることがあるようです。そのような事象が確認されていますか、また対策を伺います。
- (4) タブレット、スマホ（ゲームも合わせて）の使用時間が増加した結果、多くの子どもが視力低下になっているようです。当市においてもそのような状況がありますか、また対策について伺います。

2. シニア世代の生きがいと就労について

人生100年時代と呼ばれる昨今、これまでの人々のキャリアプランは大きく変化しています。当市のシルバー人材センターについて何点か質問をいたします。

- (1) シルバー人材センターの会員数、年齢層、男女の比率、受注件数を伺います。
- (2) 収入は勤務日数、勤務時間に見合った収入が頂けていますか。
- (3) シルバー世代に見合った魅力ある就労創出の支援を当市はどのように行っているのか伺います。

3. 当市の財政について

- (1) 現在話題となっています103万円の壁ですが、政府与党と国民民主党にて検討されています控除額を給与所得と合わせて178万円まで持っていた場合、当市の減収はいくらになるか伺います。

- (2) 八潮市の道路陥没事故は報道のとおりであります。今後、当市でも下水道の調査、修繕、更新を行わなければなりません。直近の調査、もし行うのであれば修繕は企業会計としてどのような資金手当てをしていくのか伺います。

4. 当市の公共施設利用について

公民館は地域住民の生涯学習や文化活動、スポーツ活動などの場を提供する社会教育施設です。また、コミュニティセンターは、公民館の機能を保持したうえで、地域と行政のつなぎ役として、住民への的確な情報提供や各種情報の連絡調整、さらには地域諸団体への側面的支援、諸団体間の調整、自立への支援の役割を担っているものであるとされています。

- (1) 市内公民館とコミセンの大きな違いとはどんなところでしょうか。また、所管はどうなっていますか。
- (2) それぞれの施設の予約から利用までの流れを教えてください。
- (3) 市内の施設における稼働率はどうなっていますか。また、公民館とコミセン、サンアリーナの利用者（団体）の使用条件や制限はどのようなものがありますか伺います。

4 番 砂川 和也

1. 人口減少社会への対応について

(1) 地域別の人口減少予想について

- ① 各地区の人口推計予想は、どのようになっていますか。（資料）
- ② 各地区の特徴と課題は、どのようになっていますか。
- ③ 各地区の課題解決に向けた土地利用の考えを伺います。

(2) 所有者不明土地について

- ① 現在の所有者不明土地認知件数と把握方法は、どのようになっていますか。
- ② 空き家の認知件数と今後の把握方法について伺います。
- ③ 法的制度を利用した実績と周辺自治体の利用状況は、どのようになっていますか。

(3) 小学校へのスクールバス導入について

- ① 小中学校の適正規模及び適正配置の考え方を伺います。
- ② 近隣市町の導入費用と導入後の利用状況を伺います。
- ③ 人口減少を見据えた導入効果と課題についてどのように考えていますか。

2. E B P Mに基づく計画と評価について

(1) 計画策定の意義と評価の必要性について

- ① E B P Mを導入することでの効果を伺います。
- ② E B P Mを活用した計画事例を伺います。

(2) E B P Mに基づく計画づくり

- ① 計画づくりに重要となるデータ収集と分析は、どのように行っていますか。
- ② 市が保有するデータを活用した計画づくりと計画に反映した効果を伺います。

(3) E B P Mに基づく評価と見直しについて

- ① 実施事業や政策の評価や見直しを行うことの効果を伺います。
- ② 分析結果を計画づくりに反映することについてどのように考えていますか。

3. 桶川飛行学校平和祈念館の持続可能な運営について

(1) 開館の経緯について

- ① 開館までの寄附額の推移を伺います。
 - ② 文化財とした経緯と目的を伺います。
 - ③ 開館にかかった費用を伺います。
 - ④ 平和祈念館と命名した理由を伺います。
- (2) 開館後の状況について
- ① 入場者数の5年間の推移と曜日別の推移は、どのようになっていますか。
 - ② 開館後の寄附額の推移は、どのようになっていますか。
 - ③ 維持管理費と寄附額の乖離は、どのようになっていますか。
- (3) これからの運営について
- ① 今後予想される経費は、どのような試算となっていますか。
 - ② 収入を増やす方策は、どのように考えていますか。
 - ③ 持続可能な運営に向けた方策を伺います。

1 3 番 浦田 充

1. 工事現場のバリアフリー対策について

(1) 駅西口トイレの工事について

- ① 旧三井住友銀行周辺などの敷板部分に段差があり、また、点字ブロックがはがれかけているなど障害者等の通行に支障をきたしている。この現場において、どのようなバリアフリー対策を行ったのか。
- ② 市職員による現場の状況確認を行っているのか。
- ③ 工事中のバリアフリー対策について、基準等を設けるべきではないか。

2. 駅西口のユニバーサルデザインについて

(1) 駅西口のバリアフリー化予算について

- ① デッキについて、前議会の一般質問後の検討内容とその結果を伺う。
- ② 今後どの程度の期間をかけて、バリアフリー化を行うのか伺う。

(2) マイン周囲の歩道のバリアフリー化について

- ① なぜ、まろにえ通りと比べて損傷の激しくない、駅西口公園周囲の歩道の改修を優先させたのか伺う。

(3) 駅西口トイレ前のベンチについて

- ① いわゆる「排除ベンチ」を新設した経緯を伺う。

3. ごみ集積所の現状について

(1) カラス対策について

- ① 集積所設置基準を満たしていない集積所の割合と数を伺う。
- ② ネットボックスの配布や貸与ができないか伺う。
- ③ 集積所改修に使える補助金の内容とその活用実績を伺う。

4. 障害者や高齢者等の生活の質の向上を

(1) 訪問理美容等への利用補助について

- ① 店舗での散髪等が困難な障害者、高齢者等の人数を伺う。
- ② そのような方は、どのように散髪しているのか。
- ③ 市として、そのような方に対して、訪問による散髪等について助成できないか。

2 番 渡邊 広美

1. 市民の命を守る、防災、減災対策について

昨年1月の能登半島地震の教訓から、国は災害対策に「福祉的な支援」の必要性を明記し、市町村に対して、避難所の開設当初から間仕切りと段ボールベッドの設置や栄養バランスのとれた食事、生活に必要な水の確保に努めるよう要請した。

さらに、保健衛生環境の整備として仮設トイレやトイレカーなどを明示し設置に配慮するよう市町村に要請したことから、今後の本市の災害時の取組について、以下のとおり伺う。

(1) 災害関連死を防ぐ避難所での運営について

- ① 避難所の収容人数について伺う。
- ② 国が2024年度補正予算で新設した「新地方創生交付金」によるトイレカー導入の方向性、現況について伺う。
- ③ 避難所でのパーティション、段ボールベッド等プライバシーを守る、専用スペースの取組、現況について伺う。
- ④ 栄養に配慮した食料備蓄について伺う。
- ⑤ 避難所生活での避難者の健康管理について伺う。

(2) 備蓄品の状況について

- ① 内閣府は、市町村の災害備蓄状況を、公表するとした。本市の災害備蓄状況について伺う。（備蓄状況一覧希望）
- ② 本市は、自主防災組織の災害備蓄状況について、掌握しているか、本市の現況を伺う。
- ③ 本市は、自主防災組織を通して井戸の水質検査をしているが、その趣旨について伺う。
- ④ 災害時用特設公衆電話の概要について伺う。

(3) 昨年12月、埼玉県が都道府県で初の「ジェンダー視点による避難所開設・運営の充実強化のための標準手引き」を作成した。本市の対応について

- ① 手引きによると、事前に避難所のレイアウトを決めておくなど、開設時の準備体制を万全にしておくことが重要とあった。初動キットには、各避難所となる学校の見取り図は入っているか伺う。
- ② 今回の総合防災訓練では、受付、トイレの配置などのレイアウトは決めていたか伺う。

- ③ 備蓄品の置き場の一覧、ピクトグラムの手配や外国の方用に避難ルールの多言語化、会場配置図など、誰もが目で見てわかる会場運営について伺う。
- ④ 女性スタッフの意見を反映した取組について伺う。
- (4) 防災大学校（防災セミナー）の開催について
近年の災害や首都直下地震の発生が予想される中、防災減災の関心が高まっている。蕨市は防災大学校を開催。マンションの防災対策では、戸建てと違うリスクについて学ぶなど、専門家による全9回の講習会が行われた。本市の防災大学校（防災セミナー）の方向性について伺う。
- (5) 防災士の育成について
先進自治体では、自主防災組織に所属する方、資格取得後、町内の自主防災組織で活躍する意思のある方の受験料、受講料など補助をしているが、本市の防災士育成について伺う。
- (6) 被災者支援団体への活動経費助成について
 - ① 国は、NPO、ボランティア団体等の交通費の一定額の補助を行った。この件についての本市の周知方法を伺う。
 - ② 本市は、被災地支援等、ボランティア活動を行っている団体について、把握されているか伺う。
 - ③ 今後、ボランティア団体等に、本市が交通費や保険料などの補助を行う考えがあるか伺う。

2. 市民に寄り添った支援について

- (1) 先進自治体では、視覚障がい者や小さな文字が読みづらい高齢者を支援するため、印刷物の文字情報を音声で読み上げる音声コードユニボイスが導入されている。本市のユニボイスの方向性について伺う。
- (2) 発達障がいの早期発見に向け、子ども家庭庁は5歳児健診について、実施自治体への補助を来年度予算概算要求に必要経費を盛り込んだ。本市の5歳児健診の方向性について伺う。
- (3) 新たな子ども食堂の方向性について
 - ① 市民参加型の子ども食堂の構築について伺う。
 - ② 先の一般質問で提案したフードリボンプロジェクトについて、調査研究されたと伺った。その現況について伺う。

1 番 仲又 清美

1. 指定難病患者への支援について

(※資料が用意できる項目について、資料を基にご説明願います)

(1) 国、県の公的支援について

- ① 医療費助成の現況について伺う。
- ② 生活支援の現況について伺う。
- ③ 相談支援の現況について伺う。

(2) 埼玉県内の市町村独自の公的支援について

- ① 医療費助成（見舞金等）の現況について伺う。
- ② 生活支援の現況について伺う。
- ③ 相談支援の現況について伺う。

(3) 桶川市の支援の現況と方向性について

- ① 桶川市民の指定難病患者数について伺う。
- ② 医療費助成（見舞金等）の方向性について伺う。
- ③ 生活支援の現況について伺う。
- ④ 相談支援の現況について伺う。

2. 誰もが安全で安心して、心豊かに暮らせるまちづくりについて

(※資料が用意できる項目について、資料を基にご説明願います)

(1) 団塊の世代の持ち家の方向性について

- ① 昨今、大量の相続が発生すると言われる現況と課題について伺う。
- ② 空き家にしないための相談支援について伺う。

(2) 若い世代が桶川市に住宅を購入しやすい支援について

- ① 団塊の世代の持ち家が、今後、売却や空き家になる可能性から、不動産が大きく動くチャンスになると思うが、本市はどう捉えるか、見解を伺う。
- ② 本市の若い世代の住宅購入者を増やす戦略について伺う。
- ③ 中古住宅のリノベーション費用の公費助成について伺う。

(3) 生活環境の防災・減災対策について

- ① ゲリラ豪雨対策として、令和6年12月議会に引き続き、資料で示された浸水・冠水等を防ぐ整備の現況について伺う。
- ② 現在、坂田西地域の新たな宅地開発により、畑などが減少し、ゲリラ豪雨等の雨水の行方が注視されている。特に、隣接する坂田の小松団地が、昨年の夏に、未だかつてなかった浸水被害が起きたこ

とから、坂田や坂田東地域の住宅地に、さらに、浸水等の影響が出るのではないかと心配の声がある。本市の宅地開発における防災・減災対策の方向性について伺う。

- ③ 八潮市の道路陥没事故が発生し、わが地域は大丈夫かと、市民は不安に思っている。特に、令和4年10月、末広3丁目の下水道管の劣化による道路陥没事故が起きた末広地域は、安全なのかと緊張感を持っている。現在、検査等を経て、末広地域の下水道管のリニューアル工事を行っているが、改めて安心して暮らせるよう、当地域の工事の現況と、防災・減災対策として、市内の下水道管の劣化等の点検及びリニューアル工事の方向性を伺う。

8 番 須山 陽一朗

1. 子供たちの健やかな成長を支える 学校給食のおいしさと安全の向上に向けた取組について

(1) 献立の充実について

- ① 令和5年12月の質問で検討課題とされた献立数拡充の進捗状況について
- ② 他自治体における平均5品以上（牛乳を含む）提供の実施例と運営方法について
- ③ 献立拡充に向けた具体的な課題と対応策について

(2) 食材の品質管理について

- ① 現行の桶川市学校給食用物資選定基準の運用状況について
- ② 新座市等の先進事例を参考にした物資規格書策定の可能性について
- ③ 食品添加物の使用状況の更なる改善に向けた取組について

(3) 安全で質の高い給食提供体制について

- ① 物資選定基準に基づく納入業者との品質管理体制について
- ② 食材の規格基準の統一化に向けた具体的な取組について
- ③ 安全性の確保と質の向上の両立に向けた方策について

2. 朝の校庭で元気いっぱい 子供たちの健康づくりについて

(1) 児童の健康と日光浴に関する現状認識について

- ① 各小学校における朝の時間帯の活用状況について
- ② 現在の児童の運動機会や屋外活動の実態について
- ③ 児童の体力・健康状態の現状分析について
- ④ 他自治体における先進的な取組の研究状況について

(2) 朝の校庭開放による日光浴推進の具体策について

- ① モデル校での試験的実施の可能性について
- ② 教職員の勤務実態を踏まえた実施体制について
- ③ 保護者や地域ボランティアとの連携方法について

(3) 総合的な健康づくり施策としての展開について

- ① これまでの体力向上への取組状況について
- ② 食育や睡眠教育との関連づけについて

3. 市民の声が届く SNSで変わる市役所とのコミュニケーションについて

(1) 本市SNSの登録者数に関する現状評価及び課題について

- ① 各SNSの登録者数の推移について
- ② 現状の登録者数の評価について
- ③ 登録者数増加へのこれまでの取組の成果について
- ④ 本市における今後のSNS活用の展望について

5 番 北村 あやこ

1. 市民参画のあり方について

(1) 集中したパブリックコメントに反省を

- ① 1月に締め切った6件のパブリックコメントの結果を一覧表で。
- ② 2週間に6件の意見募集をしたのは、意見がないほうがよいという魂胆しか考えられない。なぜ、丁寧なパブリックコメントはできないのか。総合調整が機能していない現状を反省すべき。

2. 東口の整備について

(1) コンパクトシティについて

- ① 南小跡地の活用方針と決定までのプロセスとスケジュールを、図示した資料で説明を求める。
- ② 病院は、市民にとって最大の願いだが、駅周辺施設で、現在、不足している機能のうち整備すべき施設としての考えを伺う。

3. 飛行学校について

(1) 検証結果の報告

- ① 設計と工事が異なっていたことについての、工事、検査を含めた検証結果の報告と反省を伺う。
- ② 負の部分の解決なくして、活用を論じても、予算の有効な執行とはなりえない。今後の方針を伺う。

4. 仮設鴨川保育所の高すぎるリース料について

(1) 市民の税金という認識について

- ① 予算、予定価格の設定は妥当か、高いと思わなかったのか。
- ② 高額的设计で同様の決定方法の事例はあるか。

9 番 近本 あんな

1. 福祉避難所の活用を求める

- (1) 現在、協定を結んでいる福祉避難所はどこか。
- (2) 福祉避難所に逃げた方がよい、とされている、要支援者名簿の登録者数は。
- (3) 一般避難所から福祉避難所への移動手段は検討しているのか伺う。

2. これまで一般質問した内容について、検討結果と予算への反映状況を伺う

- (1) 未就学児への絵本を使った性教育について（2024年3月議会）
- (2) 保育園教諭へのアンケート実施について（2024年3月議会）
- (3) 子どもの予防接種を忘れないようにするための施策について（2024年6月議会）
- (4) 高齢者見守りネットワークの協力事業者へ、定期的にチラシを配布することについて（2024年9月議会）
- (5) 孤独や孤立を抱える市民へのアウトリーチ型支援について（2024年9月議会）
 - ① 女性相談支援員の増員について
 - ② 困難女性支援法に関わる、ネットワークの充実について

3. 新ごみ処理施設建設に先駆けて、基金を設けるべきでないか

- (1) 新ごみ処理施設建設の財源確保策は。
- (2) 盛土と用地買収費用は、どの程度になると見込んでいるか。
- (3) 盛土と用地買収費用以外に、かかる金額はあるのか。

3 番 渡辺 まや

1. HPVワクチンについて

(1) 現在の状況について

- ① 定期接種開始から今年度までの事業費の推移を資料でお示してください。
- ② 桶川市のHPVワクチン事業開始からの接種者数、接種率を資料でお示してください。
- ③ 桶川市でHPVワクチン事業開始から報告されている副反応事例や、体調不良などの相談はありますか。
- ④ 全国的なHPVワクチンの副反応報告数と、重篤な症例の統計を資料でお示してください。
- ⑤ HPVワクチンの副反応に関する最新の科学的根拠を伺います。

(2) 積極的勧奨が一時停止された過去を踏まえて

- ① HPVワクチンの接種勧奨を再開した背景を伺います。
- ② HPVワクチンの安全性に関して国内外の研究機関からどのような報告が出ていますか。
- ③ 国際的に見て、HPVワクチンの安全性に関する評価、副反応の対応策に海外と日本とで違いや共通点はありますか。
- ④ 厚生労働省や、WHOなどの国際機関は、副反応に関してどのような見解ですか。
- ⑤ 市民に対するHPVワクチンの危険性と有効性について正確な情報提供はどのように行っていますか。

2. 学校給食費の無償化について

(1) 今後の可能性について

- ① 給食費の無償化に対する市の見解を伺います。
- ② 無償化に必要な予算額を伺います。
- ③ 無償化にすることで給食の質や内容にどのような影響が出ると考えられますか。
- ④ 無償化がもたらす子供たちへの影響、家庭への影響を伺います。

3. 桶川市の外国人住民について

(1) 外国人住民について

- ① 外国人住民数増加の背景を伺います。

- ② 在留資格別の人数を伺います。
- (2) 外国人の生活保護に関して
 - ① 生活保護受給者数の5年間の推移を国籍別で資料でお示してください。
 - ② 外国人が生活保護の対象者に含まれる理由を伺います。
 - ③ 外国人の生活保護受給者の平均受給期間を伺います。
 - ④ 外国人生活保護受給者への就労支援や自立支援はどのように行っていますか。
- (3) 物価高騰支援事業に関して
 - ① 令和6年度住民税非課税世帯給付金の外国人世帯の申請件数を伺います。

7 番 榑 萌美

1. 持続的な市内の経済循環を生み出すための商業振興

(1) 本市におけるこれまでの商業振興の取組について

- ① 平成24年に策定された商工振興計画の取組について伺います。
- ② これまでの商工振興計画の取組の効果について伺います。
- ③ 新たに改訂される商工振興計画との相違点について伺います。

(2) 商品券配布事業と商業振興の取組について

- ① 商品券配布事業の目的について伺います。
- ② 商品券の利用実績について伺います。
- ③ 現在の商品券配布の課題について市の見解を伺います。

(3) デジタルを活用した商業振興について

- ① 現在の商品券配布から活用までの手順について伺います。
- ② デジタルを活用した商品券事業について市の見解を伺います。
- ③ デジタル地域通貨を活用した商工振興について伺います。

2. 女性が働きやすいまちへ

(1) 本市の現状について

- ① 20代～40代の人口推移と市の見解について伺います。
- ② 20代～40代の有配偶者率の推移と市の見解について伺います。
- ③ 合計特殊出生率の推移について伺います。

(2) 女性の社会進出について

- ① 本市における女性の正規雇用率の推移について伺います。
- ② 国全体のL字カーブ問題と本市の現状について伺います。
- ③ 女性の多様な働き方に対する市の取組について伺います。

(3) 働きながら子どもを持つ選択ができるまちへ

- ① 本市の有配偶出生率と県内の類似団体の比較について伺います。
- ② 本市の有配偶出生率について市の見解を伺います。
- ③ 妊娠・出産期における女性の就労継続支援について伺います。

3. より参加したくなる20歳を祝う会にするために

(1) 20歳を祝う会の取組について

- ① 20歳を祝う会の在り方について市の見解を伺います。
- ② 20歳を祝う会の実施方法と周知方法について伺います。
- ③ 参加者の参加申込から当日入場までの手続について伺います。

- ④ 実行委員の募集方法について伺います。
- (2) 20歳を祝う会の現状について
 - ① 20歳を祝う会への参加者の10年間の推移について伺います。
 - ② 市外在住者の参加数の10年間の推移について伺います。
 - ③ 市外在住者が参加を希望された際の対応について伺います。

18番 江森 誠一

1. 駅東口開発推進事業について

- (1) 令和7年度予算額及び整備内容の詳細を伺う。
- (2) 南小跡地等利活用計画における令和7年度予算額及び事業内容の詳細を伺う。

2. 公共施設等整備事業について

- (1) 日出谷地区コミュニティ拠点整備に向けた令和7年度予算額及び事業内容の詳細を伺う。

3. 本市中学校の部活動地域移行に向けた取組について

- (1) 部活動地域移行検討協議会の開催回数及び協議内容について伺う。
- (2) 本市での部活動地域移行に対する方向性を伺う。
- (3) 部活動地域移行の実施時期について伺う。
- (4) 部活動地域移行における教職員の働き方をどのように改革していくのか伺う。

17番 にいつま 亮

1. E B P Mとこれからの自治体経営について

(1) E B P Mについて

- ① E B P Mとは、市の見解を伺う。
- ② E B P M活用の必要性について、市の見解を伺う。
- ③ E B P M活用の効果、課題について、市の見解を伺う。

(2) E B P Mの活用状況について

- ① 本市のE B P M活用状況について伺う。
- ② 本市のE B P M活用の今後の方向性について、市の見解を伺う。

2. 小学校区を起点とした「歩いて暮らせるまちづくり」の推進について

(1) 歩いて暮らせるまちづくりについて

- ① 「歩いて暮らせるまちづくり」とは、市の見解を伺う。
- ② 「歩いて暮らせるまちづくり」推進の必要性について、市の見解を伺う。
- ③ 「歩いて暮らせるまちづくり」の効果と課題について、市の見解を伺う。

(2) 小学校区について

- ① 小学校区とは、市の見解を伺う。
- ② 通学適正距離とは、市の見解を伺う。

(3) 「歩いて暮らせるまちづくり」の今後の方向性について

- ① 行政サービスの相談窓口の現状について伺う。
- ② 小学校内に行政サービスの相談窓口等を設置することについて、ルール上は可能か。市の見解を伺う。

3. 発達に課題のある子供とその保護者への支援について

(1) 本市における特別支援教育の基本的な考え方について伺う。

(2) 障害がある子の教育ニーズについて

- ① ここ10年間の本市の傾向と背景について、市の見解を伺う。
- ② 本市の支援体制と取組について伺う。
- ③ 取組の効果と課題について、市の見解を伺う。

(3) 発達に課題のある子供の保護者への支援について

- ① 本市の支援体制と取組について伺う。
- ② 取組の効果と課題について、市の見解を伺う。

(4) 連携について

- ① 学校と保護者の連携について伺う。
- ② 義務教育後の連携、相談体制について伺う。
- ③ 外部機関との連携体制について伺う。

1 5 番 岡野 千枝子

1. 南小跡地の利用・活用について

- (1) 北小学校・南小学校統合から18年、この間の跡地計画の推移を伺う。
- (2) 今後の計画のタイムスケジュールを伺う。
- (3) 桶川市商工会との連携を伺う。

2. 学校給食の無償化と「こどもまんなか社会」の実現に向けて

- (1) 全国の無償化の動きを伺う。
- (2) 埼玉県内の無償化の動きを伺う。
- (3) 国の提唱する「こどもまんなか社会」を桶川市としてはどのように受け止めているのか伺う。

3. 中学校の部活動改革について

- (1) 現在の部活動の現状を伺う。
 - ① 平日の活動状況を伺う。
 - ② 休日の活動状況を伺う。
 - ③ 長期休業中の活動状況を伺う。
- (2) 部活動を行うことによる課題を伺う。
 - ① 生徒にとっての課題を伺う。
 - ② 教員にとっての課題を伺う。
- (3) 中学生の休日の部活動について
 - ① 休日に部活動に移行することに対してどのような準備をしてきたのか伺う。
 - ② 休日の部活動は責任者をどのように捉えるのか伺う。